

連絡協力促進事業
「2009全国ワークキャンプフォーラム」

- 第1回 平成21年7月4日(土)～7月5日(日)
第2回 平成21年10月4日(土)～10月5日(日)
第3回 平成22年1月9日(土)～1月10日(日)



I 事業の背景

青少年の現代的課題として「自立への意欲」を高めることがあげられている。青少年が社会の中で自分自身の位置と役割を理解し自覚することにより、自己実現への意欲が高まり「自立」へステップアップしていくこととなる。その手法として、寝食を共にし、地域資源を活用して行う「ワークキャンプ」が極めて有効であると考え、これを普及することを目的として本事業を企画した。

II 事業の概要

1 趣 旨

現在の青少年の課題を解決するうえで有効な手法とされている「ワークキャンプ」のプログラムを全国各地に普及させることにより、青少年の「自立への意欲」を高める場を提供する。

連携した団体が共同で開発したリーダートレーニングや、海外のワークキャンプリーダーからの新たな手法は、各団体のワークキャンプに取り入れられ、プログラムの質の向上につながり大きな効果を短期間で上げることが可能である。また、低コストで事業運営可能な「ワークキャンププログラム」は、青少年に関わる多様な団体や施設の有効なプログラム手法として波及し、活用されることが期待できる



【食事づくりも重要なトレーニング】

2 参加対象

ワークキャンプに関心のある青年及びこれからワークキャンプに取り組みたいと考えている団体、あるいは個人の方(第1・2回 50名 第3回 100名)

3 参加状況

- | | | | |
|-----------------------|------|------|-------------|
| (1) 第1回リーダー養成講座 | 参加者数 | 91名 | (男49名・女42名) |
| (2) 第2回リーダー養成講座 | 参加者数 | 89名 | (男43名・女46名) |
| (3) 第3回全国ワークキャンプフォーラム | 参加者数 | 124名 | (男68名・女56名) |

◆参考：第3回全国ワークキャンプフォーラム参加地域別

北海道4名 新潟3名 福島3名 茨城10名・栃木4名・群馬5名・埼玉19名・千葉17名・東京・神奈川131名・福井3名・山梨11名・長野15名・静岡12名・愛知23名三重2名・滋賀5名・京都6名・大阪15名・兵庫6名・奈良2名・鳥取1名・島根1名・岡山2名・広島1名・福岡2名・長崎2名

4 企画のポイント

第1回リーダー養成講座では「現場力」をテーマにプログラムづくりをワークキャンプ団体が共同で創り上げていった。また第2回リーダー養成講座では「共有とネクストステップ」を意識したプログラム展開を全国ワークキャンプ団体の若手職員が中心になりプログラミングと運営を担った。第3回では何よりも「広がり」をテーマに知恵を絞った。ワークキャンプ団体それぞれの共有課題を解決するプログラムを創り上げることで互いのノウハウが積み重なり各団体の運営の発展につなげることができ全国のワークキャンプ団体の発展に貢献できたと考える。

5 実施状況・参加者の様子

1 第1回リーダー養成講座

(1) 事業の目的

「ワークキャンプ」は、より教育効果の高いプログラムの普及が大きな課題になっている。

本講座は「質の高いワークキャンププログラムを企画・運営する力」に重点を置いた講座を実施することにより次世代リーダーの育成を図る。

(2) 参加対象及び募集人数

ワークキャンプに関心のある青年50名

(3) 事業内容

リーダーシップトレーニングを実際のワークキャンプスタイルで行う。グループにはトレーナーを配置し、「青少年交流の家課題解決ワーク」「課題解決型夕食づくり」などを通してグループワークの手法、リーダーシップのあり方を学ぶプログラムを実施し、満足度100%と非常に満足度の高い講座になった。

2 第2回リーダー養成講座

(1) 事業の目的

第1回のリーダー養成講座を受け、各地域でワークキャンプのリーダーを経験をした青年を対象にワークキャンプのふりかえりを行う。感動、思い、失敗を共有し、次のステップを創り出すことで、各地域で活躍できる次世代リーダーの育成を図る。

(2) 参加対象及び募集人数

ワークキャンプ経験または、関心のある青年50名

(3) 事業内容

違う所属団体のリーダーがそれぞれのワークキャンプの思いや感動を伝え合い、演劇ワークショップで共有したものを表現することにより、ワークキャンプや地域課題の共通性や今後の課題を明らかにし、次のステップ(具体的目標)を創り出す。



【フォーラムの分科会の様子】

3 第3回全国ワークキャンプフォーラム

(1) 事業の目的

本講座において、今後、「ワークキャンプ」をスタートさせたい学校、団体等の担当者を対象にワークキャンププログラムを企画・運営するノウハウを学ぶセミナーを開催し、「ワークキャンプ」の普及を図る。

(2) 参加対象及び募集人数

ワークキャンプに関心のある団体、個人50名

(3) 事業内容

シンポジウム、課題別分科会及びワークキャンプ企画セミナーを通して各地域で様々なワークキャンプを新たに創り出すことを目指して実施する。

Ⅲ 成果と課題

1 成果

全国のワークキャンプ団体のネットワークづくりに基づいた「ワークキャンプの普及」と「ワークキャンプリーダーの養成」をコンセプトに3回シリーズのフォーラムに取り組んだ。質の高いリーダー養成講座や全国のリーダーを結んだ第2回のリーダー養成講座や全国各地からの124名の参加者が集った第3回、どの企画も達成度の高い水準で成果をあげることができた。特に、昨年より第3回のフォーラムを、そして第2回のリーダー養成講座の会場を国立オリンピック記念青少年総合センターで実施したが、会場の知名度、交通の便の良さが奏を功し、募集定員50名を大きく上回る124名、51団体が参加し、大きな全国ネットワークの構築と成果の普及を果したフォーラムとなった。5年間の講座の中で、各地域で新しく生まれた活動団体は20団体、養成したリーダー数は371名を超え、世界や日本の中山間地域等で活躍している。

2 今後の課題

若者達が、地域が変わるプロセスを実感する中で若者たちが成長することがワークキャンプの魅力である。体験なきところに意欲と知恵は生まれない。今後、このワークキャンプの普及こそ日本の将来の土台を創ることにつながるのではないかと考える。